

**同窓会会報**  
第54号  
平成7年7月20日  
発行所  
茨城県東茨城郡  
内原町鯉淵5965  
鯉淵学園同窓会  
☎319-03 TEL 0292-59-2811  
振替口座 宇都宮3-1632番  
印刷所  
佐藤印刷株式会社

# 募金活動本格始動

## 一人一口応募で後輩の夢拡大

鯉淵学園の創立五十周年を迎える平成七年十一月を指した記念事業募金活動は、三月二十五日、趣意書の発送をもって本格的に始動、四月～六月と緩やかな滑り出しながらも、全国隅々の会員三六五名から、五、四六六千円の寄付応募とともに寄せられた、母校愛溢れる心情に激されながらの序盤模様で、これからの広がりや結果の成果に期待がかかります。

今回の事業企画は、私たちの青春の拠点「鯉淵学園」の興隆と、後輩の夢拡大を宿願して、更には、同窓会自らの盛運を懸けての運動でもあることから、一步の後退も許されない正念場となりました。

運動の終期は、まだまだではありませんが、早期達成を果して、事業内容の充実を力をつけたいと思います。後に掲載する応募者(名簿)に続き、早めの応募を要請する次第です。

事務局では、今、一人一口募金の完全実施を目指した活動、即ち、会員交流の広がりや期待をかけて奮闘しております。

先ず、都道府県支部並びに同期生会の集会对する啓蒙宣伝を主軸に、所在不明会員の追跡に全力を注いでおりますので、ご協力下さい。

所在不明者は、現在、三四三名となっておりますが、転居したままの会員が殆どで、時たま、「終身会費を収めた

ら、会報が来なくなった!?!?。」という連絡があります。調べてみますと、「あて所に尋ね当たらず」等で返送されたままになっております。

また、名簿に登録されていない会員も相当な数です。

この際、これらの全面解消を図って名簿の精度を高め、会員交流の基盤に願うところです。

「近所に、会報が届かない」等の仲間がおりましたら、本人でも、友達でも構いませんからご連絡下さい。本年中に整理し、先ず、趣意書を送って事業への理解、協力を要請いたします。

また、今年卒業した新会員の第四十八期の皆さんにも、新しい住所を把握次第、趣意書をお届けしますので、ご協力をお願いいたします。

最後に、一人一口、早めの応募を、重ねてお願いいたしますとともに、寄付者名簿を掲載して、お礼といたします。

\*名簿説明—敬称省略。○内数字は卒期、括弧は通信同。金額は定額以外。追加寄付は、累計額口数を表示した。今後は、実績額口数と累計額口数を併記する。

例—◆一口二万円(九口寄付済者)  
【〇〇県】①鯉淵太郎(二〇〇)

### 記念事業寄付応募者名簿

(〜平成六年六月三〇日実績・三六五名)

- ◆ 十口 十万円(五名)
  - 【茨城】④ 西村 典夫
  - ⑦ 岩持 文彦
  - 【群馬】④ 阿部 功
  - ⑥ 川崎 進
  - 【東京】③ 吉岡 孝行
  - ◆ 五口 五万円(十二名)
    - 【福島】⑦ 斉藤 武雄
    - ③ 遠山 操
    - ②⑤ 根本 保夫
    - 【愛媛】⑦ 上甲 修三
    - ④ 上田 忠
    - ③① 浦井 義之
    - ②④ 荒井 春江
    - ②③ 宮田 和男
    - ⑨ 佐藤 恭減
    - ⑩ 佐藤 満雄
    - ⑪ 小野寺 孝
    - 【山形】⑤ 小川 昭伍
    - 【北海道】③ 田中 淳
    - 【岩手】⑤ 小川 昭伍
    - 【茨城】① 佐藤 満雄
    - ⑩ 小野寺 孝
    - ⑨ 佐藤 恭減
    - ②④ 荒井 春江
    - ②③ 宮田 和男
    - ⑨ 佐藤 恭減
    - ⑩ 佐藤 満雄
    - ⑪ 小野寺 孝
    - 【埼玉】⑦ 清水 源也

# 新生鯉淵学園に向けて

教務部長 安 藤 義 道

〔山口〕	② 梅下英治	③ 山本英治	④ 松永武之	⑧ 原多正法	⑨ 岡本正法	⑨ 木村孝治	⑫ 中村一郎	〔香川〕	⑤ 仙波岩巳	⑭ 富家優巳	⑰ 近藤政子	〔高知〕	② 平野成泰	② 野中修	③ 広見京子	⑩ 東子	〔福岡〕	⑩ 馬原清隆	⑭ 上島良一	⑭ 吉丸民雄	⑲ 合志文夫	⑲ 田上輝昭	⑲ 中原健二	⑲ 東田善明	⑲ 吉田喜幸	⑲ 高木重成	⑲ 高崎勝	⑲ 早上三男	⑲ 奥村心度	〔熊本〕	② 山口兼男	③ 山口兼男	③ 森繁昭	④ 村田幸代	④ 渡辺秋利	〔長崎〕	③ 寺川和好	③ 出久保美彦	〔佐賀〕	④ 竊田真樹子	④ 陣内栄子	③ 坂田秀雄	
〔大分〕	② 藤沢裕治	④ 北野典爾	④ 上田慎也	④ 那須良	④ 坂野裕文	④ 松本功	④ 田端義雄	④ 井晴生	〔鹿兒島〕	④ 湯川掬生	④ 梶田三丸	④ 中野重雄	④ 川尻重廣	④ 久木雅子	④ 重留周二	④ 東田盛正	④ 砂川久子	〔沖縄〕	④ 砂川久子	④ 東田盛正	④ 重留周二	④ 久木雅子	④ 川尻重廣	④ 中野重雄	④ 梶田三丸	④ 湯川掬生	④ 湯川掬生	④ 梶田三丸	④ 中野重雄	④ 川尻重廣	④ 久木雅子	④ 重留周二	④ 東田盛正	④ 砂川久子	〔宮崎〕	④ 藤沢裕治	④ 北野典爾	④ 上田慎也	④ 那須良	④ 坂野裕文	④ 松本功	④ 田端義雄	④ 井晴生

一 学園の近況  
 昨年の冷夏の借りを返すかのように、今年の夏は猛暑続きの毎日です。この猛暑の中、七月二五日からは園芸農場で恒例の夏期実習が始まります。ここで培かわ

れた忍耐力が鯉淵魂の源となっていくのは昔も今も同じです。

今年には本科学者数が一二九名（農業科九一名・生活栄養科三八名）、本科三年編入学者数四名、普及専攻科入学者数三九名で、新入生の数は一七二名に達しました。幸い入学者の辞退者も数名で、学園キャンパスは活気に充ちています。時には活気を通りこしてトラブルとなり、学生生活部の先生方や組担任の先生方がその対応に追われることもあり。それも永年勤めた教師の目からみると、寮生活という学園の教育風土から生まれるような気がします。

二 四年制・専修学校に生れ変わります  
 学園は平成七年の五〇周年を期に、四年制専修学校に移行することはすでにご報告した通りですが、これに先がけて四月からは従来の各種学校から専修学校に移行しました。対外的には農業・生活専門学校鯉淵学園と紹介しております。この方面の三年制専門学校として第一号であることはいままでもありませんが、四年制専門学校になると専門学校としても珍しい存在になると思います。

四年制移行を機会に、長く慣れ親しんでまいりました農業科は農業経営科学科に、生活栄養科は生活栄養科学科に改称の予定です。定員は従来通りですが、コースが一部生れ変わります。

農業経営科 定員八〇名

作物園芸コース 四〇名

畜産加工コース 二〇名

経営流通コース 二〇名

(コース分けは二年次から)

生活栄養科 定員四〇名

ただ、三年が四年に変わるといこうとは社会的には並大抵ではありません。今私共が直面しているのは生活栄養科(米年度からは生活栄養科と改名)の問題です。法律では四年制の栄養士養成施設に管理栄養士(国家資格)の受験資格が与えられます。それ故に厳しいハードルがあります。

もうひとつは、現在三年制短大資格が人事院から与えられておりますが、四年制になったら四年制大学の資格が与えられるのかという問題があります。これはひとえに卒業生の皆さんの活躍に負うところが大きいのですが、幸い実質四年の普及専攻科の卒業生が約五〇名ほど地方上級ないし国家II種に採用されています。こうした実績から農林水産省の担当者からは、しっかりと実績を今後に残せば人事院と協議協力していく約束を頂いております。

三 学生募集にご協力を  
 数々の難門はありますが、まずは何とか乗り越えていくべく職員は一丸となっております。その職員が今一番心配しておりますのは学生の応募です。養成士養成期間を三年から四年にする問題で厚生省と協議中であることから、

正式な四年制カリキュラムが固められず学園要覧の発行が例年に比べて三ヶ月遅れることが必死です。そのため学生募集のための宣伝がままなりません。

もうひとつ心配の種は、四年制になって果して大学でなく専門学校を選んでくれるかということです。とはいえ、大学農学部から「農」の字がほとんど消えていく時代に（多くは生物資源学部のような名称に変更中）、本当に農業の現場に近い土のにおいのする鯉淵学園の存在は貴重です。学園の建学の理念「行学一致」の教育は大学ではできません。改めてこの意味を理解される卒業生の皆さんに学生募集の協力をお願いいたします。なお、卒業生に紹介して頂く学生には優先入学制度をとっておりますので、そのご案内をさせていただきます。

#### 四 鯉淵学園優先入学案内

##### 鯉淵学園優先入学要項

- 一、推薦入学の人員  
 農業経営科 約10名  
 生活栄養科 約5名

##### 二、出願受付および選考

- (1) 時期  
 十月十一日(火)～十月二十日(木)
- (2) 必要書類  
 ① 本学教職員ならびに同窓会関係者の推薦書  
 ② 本学園の学生募集要項に記載の通常の出願書類
- (3) 選考

書類および作文について選考  
 三、合格通知  
 十一月十日(木)に本人あてに通知する

#### 四、入学手続

十二月一日(木)～十二月九日(金)の間に所定の手続きを行う  
 推薦入学者としての要件

- (1) 平成七年三月高等学校等卒業見込みおよびその前年度卒業者  
 (2) 人物が優秀で本学教職員ならびに同窓会関係者が推薦する者  
 (3) 高等学校第三学年一学期までの成績評定平均値が三・〇以上の者  
 (4) 入学を希望する次の各料において、その項目のいずれかを目指し、その条件と資質を備えた人物

##### (一) 農業経営科

- ① 農業およびその関連産業の後継者  
 ② 農業の指導者あるいは技術者  
 ③ 国語および生物に関する素養をもち、自然環境や農業分野での社会活動を志す人物

##### (二) 生活栄養科

- ① 農業および食品産業の後継者  
 ② 農村生活の指導者あるいは栄養士  
 ③ 食糧と栄養の諸問題に強い関心をもち、この分野での社会活動を志す人物

## 鯉淵学園機構改革

七年度からの四年制発足、将来の勤務体制に対応するため、四月一日付で学園の機構改革が行われました。

事務部 従来の総務部と教務部の事務部門を合併させ、企画渉外係、キャンパス係、庶務係、経理財務係、教務係、図書係の六係りとした。

教務部 従来の教務部の企画関係を独立させ、農業科園芸コース、農業科畜産コース、生活栄養科、普及専攻科による構成とした。

学生生活部 従来通り学生係、生活係からなる。

農場部 従来の園芸農場と酪農場を合併させ、作物・園芸課と畜産・加工課に分け、作物・園芸課は作物係と園芸係、畜産・加工課は酪農係、肉畜係加工係とした。

### 人事移動

退職 三月三十一日

教授	西村典夫
技師兼講師	木下孝正
嘱託教授	土崎常男
嘱託教授	桜井昭利
嘱託教授	丸川慎三
採用 四月一日	
教授	土崎常男
嘱託教授	西村典夫
嘱託教授	丸山朝由

嘱託教授 渡辺幸夫

機構改革に伴う主な人事 四月一日  
 教務部長 安藤義道  
 農業科(園芸コース)科長 土崎常男

農業科(畜産コース)科長 中野光志

生活栄養科科長 川井 光

普及専攻科科長 飯塚節夫

農場部長 砂田義雄

作物・園芸課長 小沼和重  
 畜産・加工課長 山本英治  
 事務部長 坪野敏美

(坪野)



# 支部・同期の動向

平成五年十月以降、事務局に寄せられた情報をもとに、開催順に列記しますと、十一月の茨城、徳島に始まり、十二月は群馬及び宮崎、今年に入って一月に熊本、二月は島根及び栃木、五月の佐賀と、計八支部で総会又は研修会が開かれ、学園の歩みとともに、本部と支部の交流及び、会員それぞれの業績評価又は掘り出し等、豊富な内容に終始しました。

同期の巻では、十期の面々が、中には奥さん子供同伴で、或いは孫に付き添われてこの二月、栃木県鬼怒川温泉に集合し、往時の懐古に旧交を確かめながらの一夜を過ごしました。

そして、各会場ともに、学園の五十年祝賀ムードで盛り上がり、記念事業への支援強化等、力強い限りの集約であります。

特に、熊本県支部「不知火会」の懇親会では、高崎勝会長の発議を受けた出席者一人一口の募金カンパが行われ、寄付呼びかけの作業を進める事務局にとっては、感激の極み、この上もないお土産となりました。厚くお礼申し上げます。

最後に、情報交流のお願いです。支部の総会又は研修会、或いは同期生会等計画の際は、早めにご連絡下さ

い。ご要望により、本部役員を派遣して交流を深めたいと思います。

また、結果報告を頂ければ、動向として、紙面の許すかぎり会報に掲載する方針です。是非、お願いします。

次に、支部総会等の概要として、◆開催日、◆会場、◆役員、◆出席者等、◆本部派遣役職員の順に報告します。○数字は卒期。

## 茨城県支部総会

◆平成五年十一月三日(木)

◆鯉淵学園・第一番教室

◆支部長 岩持 文彦⑦

副支部長

市野沢 弘⑩(県北分会長)

松田 暄信⑦(県央分会長)

坂垣 常雄⑭(鹿行分会長)

倉重 一夫⑪(県南分会長)

増山 勝⑦(県西分会長)

監事 中村 信夫⑦

本宮 好美⑫

◆出席者

遠山 操③ 中村 恵一④

関 正治④ 砂田 義男⑤

松田 暄信⑦ 岩持 文彦⑦

中村 信夫⑦ 増山 勝⑦

鈴木 光雄⑧ 市野沢 弘⑩

志賀 陸男⑪ 吉川 昭雄⑪

佐藤 昭八⑪ 若林 均⑫  
菊地 貞三⑬ 船橋 和江⑱  
根本 保夫⑲ 荒川 光男⑲  
高橋 久美⑳

## 徳島県支部総会

◆平成五年十一月十日(木)

◆徳島市

◆支部長 坂本 太郎①



徳島県支部総会

「記念写真説明」

前列右から、開出 基①(香川)

小浜碩郎①(同) 安達義正先生

坂本太郎① 上田 忠④ 後列同

元木重利⑤ 大西正章①(愛媛)

渡邊幸男④ 原口隆雄④

谷 弘郎③ 山崎佳真③

◆①⑤の会員を中心に、香川県、愛媛県からの仲間も参加して、地元在住の元教授、安達義正先生を囲んでの限りない盛り上がりとなりました。

ここに、学園の刷新並びに五十周年記念事業の達成を祈願して全力支援を決定、表明し、もって、懇親会記念撮影の雄姿を披露して健在の証明といえます。

## 群馬県支部総会

◆平成五年十二月十一日(出)

◆群馬厚生年金会館(前橋市)

◆支部長 阿部 功④

事務局長 小林 弘⑭

◆出席者

飯島金次郎③ 堤 照徳③

阿部 功④ 橋本 実⑥

関口 義明⑦ 石田キヨ子⑭

小林 弘⑭ 亀井 貞子⑲

竹上千恵子⑳ 田部井敏明㉑

青井 信夫㉒ 女屋 篤㉓

◆派遣員 岩持 文彦⑦(事務局長)

## 宮崎県支部総会

◆平成五年十二月十一日(出)

◆宮崎市

◆支部長 阪衛 克己⑤

副支部長 山田 洋一⑩

湯浅紀久子⑮

事務局 日高 諒進⑩実

興梠 善彦⑬





群馬県支部総会

〔記念写真説明〕

前列右から、亀井、石田、阿部、岩持、橋本。後列同、女屋、竹上、小林、関口、田部井、青井。

熊本県支部

一「不知火」総会

◆平成六年一月三十日(日)

◆熊本市上通り町一―五

焼肉友宝「なつのゆき」

(田端義雄(28)経営)

◆支部長 高崎 勝(8)

副支部長 高木 重成(10)

幹事

馬原 清隆(26) 坂野 裕文(35)

野満 洋佑(27) 井 晴生(26)  
松本 功(29) 岩間 勇治(29)  
会計 坂野 裕文(35)  
事務局 吉丸 民雄(24) 田端 義雄(28)

◆出席者(役員は出席につき省略)

奥村 心度(2) 坂田 秀雄(3)(福岡)

早上 三男(4) 芹口 昭男(5)

森川 紀一(16) 吉田 喜幸(16)

東 善明(19) 原田 健二(19)

中村 眞輔(19) 田上 輝昭(21)

合志 文夫(22) 上島 良一(24)

那須 良(43)

◆派遣員 岩持 文彦(7)(事務局長)

島根県支部

一「筑波会」総会

◆平成六年二月五日(土)―六日(日)

◆松江市西茶町四〇

松江ニューアパホテル別館

◆支部長 竹下 盛雄(9)

◆世話人

富永 好正(8) 三徳 毅(12)

石田 一秀(12) 小松原照夫(14)

金原 栄保(18) 井上嘉保留(19)

仙石 晃(20) 星野 芳博(22)

遠藤 孝(23) 勝部 誠(24)

山田 順一(26) 藤原 友征(26)

堀川 博(26) 野島 年光(27)

長谷川 功(28) 吉川 忠夫(34)

内田 経一(35) 寺田 禎(36)

川谷 勇策(44)

◆派遣員 福丸 博房(9)(会長)

栃木県支部総会

◆平成六年二月十八日(金)―十九日(土)

◆鹿沼市栃窪二二五五

栃木厚生年金休暇センター

◆支部長 川上 忠(5)

◆出席者

湯沢 隆夫(1) 梶並 清一(1)

豊田 文雄(2) 川上 忠(5)

高島 武(8) 篠原 要一(22)

大竹 勝次(14) 小森 康雄(25)

小川 泰一(25) 塚田 一枝(31)

波多野幸司(25) 早乙女真仁(31)

奈良 茂男(31) 福田 光明(31)

鈴木 茂男(31) 駒場 勝則(32)

池崎 誠二(34) 中田 紀博(45)

◆派遣員 岩持 文彦(7)(事務局長)

佐賀県支部総会

◆平成六年五月二十八日(日)

◆佐賀市 佐賀駅南西「はがくれ荘」

◆支部長 小林 康則(5)

◆派遣員 砂田 義雄(5)(常任委員)

兵庫県支部総会

一 定例会予定

◆平成六年六月二十六日(日)

◆神戸市垂水区東舞子一八一―一

「舞子ビラ」

午前十一時

☎〇七八―七〇六一三七二一

(JR「舞子駅」山陽舞子公園より徒歩十分)

◆支部長 足立 優(7)

◆派遣員(予定) 岩持 文彦(7)(事務局長)

埼玉県支部総会

◆平成六年七月十六―十七日(予定)

◆加須市志多見 「むさしの村」

◆支部長 清水 源也(7)(代表幹事)

◆幹事

金子 京子(20) 永岡 和明(22)

鈴木 市郎(25) 湯本 達夫(33)

◆派遣員(予定) 福丸 博房(9)(会長)

第十期生会

◆平成六年二月二十六日(日)

一 二十七日(日)

◆栃木県藤原町鬼怒川温泉

「きぬ川館本店」

◆出席者

〔秋田〕原田 耕作 小西 三治

〔山形〕高橋 忠助 小野寺 孝

〔福島〕二瓶 重喜 唐橋 勇吉

須田 鉄二

〔茨城〕市野沢 弘 高橋記美江

佐藤 康 川上 進介

幡多実文夫 西 正照

〔栃木〕篠原 要一 高橋 久

羽生 軍司

〔千葉〕西村 璋三

〔新潟〕志田 定夫

〔長野〕細田 修理

〔石川〕山本 久雄 奥野 正篤

〔富山〕後谷 信一

〔愛知〕鈴木 辰男

〔滋賀〕駒井浩一朗

〔奈良〕井上 薫

〔大阪〕石郷岡康雄

〔兵庫〕奥田 和夫

〔香川〕宮崎 岩美

〔愛媛〕岡 一郎

〔長崎〕浜本 正成

〔熊本〕高木 重成

〔宮崎〕日高 諦進

〔派遣員〕岩持 文彦①(事務局長)

### 第十一期生会

◆平成六年七月一日(予定)  
◆東京虎ノ門バストラル  
(農林年金会館)

◆派遣員(予定)  
福丸 博房⑨(会長)

### 第九期生会

◆平成六年八月十九日(午後五時三十分)  
下日(予定)

◆東京都台東区上野三の二七の二二  
JR御徒町駅前

ファミリデーバート「吉池」七階  
☎〇三―三八三―一〇一四一

◆派遣員 福丸 博房⑨(会長)  
(連絡・柳吉池専務 山崎 修)

### 第一期生会

◆平成六年十月十七、十九日(予定)  
「京都大会」

◆京都市中京区河原町通竹屋町東人角  
石長本館 松菊園

◆会長 伊藤 明  
会計 岩田 信吾

京都大会幹事  
稲上 知 栗山 要

高田 利通 田中 嘉一

伊藤 宝務 真鍋 文蔵

### 常務委員会報告

## 記念事業発起趣意書本決まり

### 福丸会長・満永会員協会理事に

◆派遣員 (未定)

青森県支部人事

◆平成六年六月四日  
◆事務局長(新)

小平 孝二郎②

上北郡百石町千刈田二五―四四  
☎〇二七八―五二―三九五七

平成六年二月二十九日(同窓会館)に招集された定例会は、前日からの大雪にも  
めげずに予定どおり開会、昨年十一月三日開催の第二十一回大会において委任さ  
れた「学園創立五十周年記念事業」発起作業の総点検を行い、趣意書を最終決定  
したほかに、会計規則並びに、顕彰規定(何れも仮称)の制定についても、次期  
大会に諮る方針を固め、原案作成作業に取りかかることとなりました。

また、農民教育協会理事選出では、従来、同窓会長一名の推薦、参入でありま  
したが、今回は、二名の推薦要請を受けたもので、協議の結果、会長と千葉県船  
橋市在住の満永正昭氏(第四期卒、学園講師、社団法人・食品需給研究センタ  
参予)の適任で合意が図られ、本人の承諾を得たうえで、三月十八日付、正式に  
推薦、協会理事に就任いたしました。

今回の定例会は、記念事業発起人の (者除外)の方々にお願いすることとな  
調整を主題として、監事合同で開きま  
りました。記録的な大雪の為に出席が鈍  
りました。にも係わらず、精力的協議  
の結果、会員の皆様にお届けした趣意  
書内容のとおり、三四三名(役職重複

達成を目指して、ご指導ご協力をお願  
い申し上げます。

◆会員名簿の整備対策  
―所在不明者の追跡調査実施―

平成五年十二月発送した会費納入通  
知及び会報第五十三号ですが、「あて  
所に尋ね当たらず」等で、返却された  
ものは五十七通です。これらを追跡の  
結果、一九名の所在が確認されました。  
殆どの場合、結婚又は転勤による転  
居です。

また、三月二十五日発送した趣意書  
の場合は、同様の理由で一五通返却、  
うち、十名が判明いたしました。

所在不明者は、この様にして年々増  
え続け、現在四百名近い数となってお  
ります。

近くに、或いは同期の仲間で、会報  
等が届かない話を耳にされた時は、直  
ぐ、ご連絡下さい。

名簿の精度を高めるには、会員の皆  
さんからの情報に頼るほかに、手だて  
がございません。

これから年末にかけて、不明者の追  
跡を行いたいと思っておりますので、  
ご協力をお願い申し上げます。

◆名簿重複者の処遇  
―本科卒一元化で統一―

名簿重複の例として、実科卒者が本

科に入り直すとか、或いは、既に会員登録されている方が、専攻科人学等された場合にみられ、通知等が重複作成されます。

従って、同じ通知文とか会報が二通も届いたり、会費を二回も請求されたりの不都合が起ります。

これらを防ぐ為の措置ですので、ご理解をいただき、今後、通知等が重複して届いた場合は、ご連絡下さい。

◆会議出席者

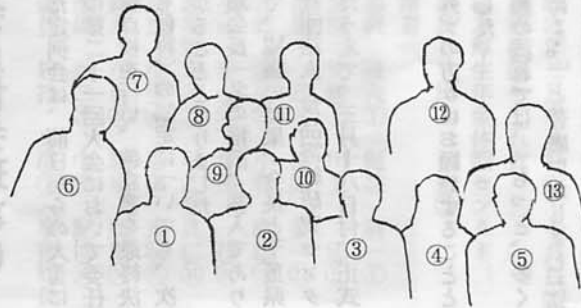
(役職、氏名、卒期、所属の順)

- 会長 福丸 博房⑨ 埼玉
- 副会長 高橋 隆三⑨ 茨城
- 副会長兼常任委員長

- 常任委員 吉川 昭雄⑪ 茨城
- 岩持 文彦⑦ 茨城
- 船橋 和江⑩ 茨城
- 根本 保夫②⑤ 茨城
- 橋本 実⑥ 群馬

- 北村 康祐② 神奈川
- 西村 典夫④ 学園
- 関正 治④ 学園
- 砂田 義雄⑤ 学園
- 坪野 敏美⑦ 学園
- 菊池 崇②⑥ 学園
- 入江三弥子②⑨ 学園
- 山本 英治③① 学園
- 涌井 義郎③① 学園
- 佐藤 利文④⑤ 学園
- 河内 雅幸④⑥ 学園

＝異＝色＝の＝同＝窓＝会＝



- |    |     |    |
|----|-----|----|
| 1  | 24期 | 良治 |
| 2  | 21期 | 和喜 |
| 3  | 9期  | 樋屋 |
| 4  | 27期 | 飯塚 |
| 5  | 21期 | 下島 |
| 6  | 29期 | 伊北 |
| 7  | 35期 | 吉沢 |
| 8  | 37期 | 原沢 |
| 9  | 37期 | 吉沢 |
| 10 | 26期 | 伊宮 |
| 11 | 30期 | 神林 |
| 12 | 30期 | 野山 |
| 13 | 23期 | 村田 |

りのJA伊那の七名の皆さん合同で開催したもので、今回はJA伊那の皆さんの主催で行われ、大きな農業問題を抱えるJAに勤める者、そして同窓生同志だけに共通の話題が多く、会の盛り上りは他にはみられないもので、随所に鯉淵精神丸出しの場面があり、面々と続く伝統の頼もしさを感じさせ最後に料亭が割れんばかりの察歌で次回を楽しみに解散した。

先頃この異色同窓会、第二回目が開催された。この同窓会の発端は昨年春JA長野中央会南信支所(諏訪、上伊那、下伊那)の所長として赴任して来た、宮沢照男氏(十四期)の歓迎をJA伊南で活躍している七名が企画、隣

佐賀県鯉淵学園同窓会五月二十八日開かる

五十周年事業へ総力結集決議

さる五月二十八日(土)、佐賀市はがくれ荘で、佐賀県鯉淵学園同窓会が開かれ二十八名が参加。本部より砂田教授が出席。

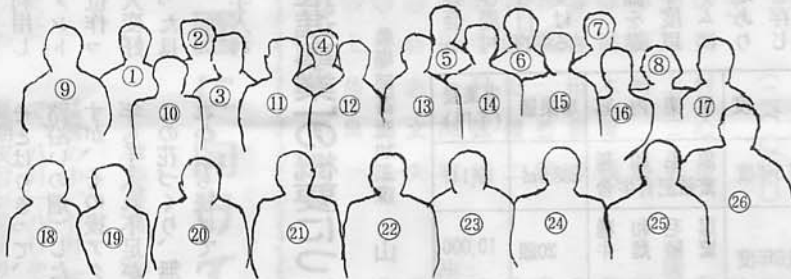
遙かにかすむ筑波峯 かげろうも

ゆる常陸野の……と察歌で開会し、青春の拠点「鯉淵学園」に心をなした。

寺川和好②の挨拶。砂田教授より、四年制への移行、五十周年記念事業へ賛同した。

の取り組み、募金六千三百万円の造成方法等について情勢報告があった。

五十周年記念事業の記念行事、五十周年史の編纂、図書館建設等では、「二十一世紀へ飛躍する新生鯉淵学園づくり」として、同窓生の総力を結集して取り組もう!!、「六千三百万円募金目標に学園発展への報恩として、全員協力しよう!!」との発言に万場一致で賛同した。



①44期・山口②45期・宗田③44期・若林④23期・近藤⑤24期・中尾⑥31期・北村⑦22期・古竹⑧39期・中村(山口)⑨28期・嘉村⑩25期・中尾(梅野)⑪13期・江口幸⑫11期・加茂⑬8期・原口⑭2期・本野通⑮3期・田久保通⑯23期・坂口(永原)⑰27期・河野(菅原)⑱30期・森田⑲30期・山口⑳3期・橋口㉑3期・江頭㉒砂田教授㉓2期・寺川㉔4期・大曲㉕4期・井手㉖4期・小林

佐賀県鯉淵学園同窓会 (1994・5・28はがくれ荘)

この後、本野隅一(通②農産普及課副指導監)の首頭で乾盃、懇親会に入り、自己紹介、交流を深めた。出席者は写真で説明。写真の他、⑮佐々木(井手)、⑯重、⑰古賀(菅原)も参加した。本部より出席の砂田教授談。「佐賀県の同窓会に、在県人の半分が出席し、うち七名女性出席。⑳の現職者の参加

で、他で見られない大盛会でした。皆さんが、県、農協、経済連、漁連、議員など各界での活躍ぶりに接し、大変感激した。この熱意と結果力で、五十周年事業を是非仕上げるように、他県へも呼び掛けたい。」と。砂田教授は、同窓会の翌日二十九日(日)、JA小城市近藤技術員㉓、小林④の案内で、小城市、白石地区、鹿島市、

嬉野の茶、有田の柿衝門、伊万里の梨ふるさと村、唐津市、松浦東部のハウスマカン等を観察し、帰学。「戦後の混乱期、緑豊かな常陸野の一角に、自然から学び、人に学び、仲間と学び行学一致を實踐し、ヒューマニティ溢れる人づくりを建学の理念として、鯉淵学園は創設された。はや五十年、次世紀へのジャンプとしての創立五十周年事業に積極的に参加し、応募

し、新生鯉淵学園を六千名の力でつくり上げよう。」と思うところである。「心の里の鯉淵学園のさらなる発展のため、意欲溢れる後輩を送り続け、応分の金を出し、総力を結集し、来年十一月の学園祭に全国から馳せ参じ、……ああ吾友よ握りたる この手の温み忘れめや……」と歌い明かそうよ。」と全国の友へ呼びかけたい。(文責④小林康則)

## 投稿 めぞすはミニコスモス街道

伊勢崎農業改良普及所 飯島敏江 (26期)

明るい行政一〇一号に、私の楽しみはアートフラワーだけれど、仕事、育児、家事等で忙しくて出来ないと言っていました。

その後、育児からは開放されたのですが、それに関連したPTAや子ども育成会等々で忙しさは年々増すばかり。やっとの思いで頼まれたブーケだけは作りました。おかげで道具を入れたダンボール箱は相変わらず塵をかぶってままです。

これに変わる最近の楽しみは何だろうと考えてみました。これを始めるきっかけは、二年前ドイツで見た、窓辺の草花、そして室内飾花の美しさに魅せられたからなのです。

さて、その花づくり、見るのとやるのとは大違い、定植までは比較的簡単なのですが、その後の除草等、管理がとても大変でした。でも反面楽しいことも沢山ありました。

苗が沢山できたので、友人にあげて喜ばれたり、又、地域の公園、小学校の花壇に植えて頂くことが出来ました。道路沿いのわが家の畑にはコスモス、サルビアを植えたところ、地域の方に「あそこを通るのが楽しみ」と言ってもらいましたし、小学生が摘んで教室にもっていったりと思わぬ効果がありました。

ドライフラワー用の花も、同時に数種植えてみました。知人に聞いたり、本で見たりしながら収穫後、乾燥に挑



戦しました。でも初めてなので、失敗した花もありました。その花を利用して、リースや籠もりのアレンジメントを作りました。リースは三〇ヶ位作って友人に贈りましたが、これも大変好評で来年もほしいと予約がはいったほどでした。

去年は低温長雨の異常気象と手入れ

### 「畜技術研修教育推進事業」の概要について

農場部畜産加工課 山本英治

この度、(財)全国競馬畜産振興会から、将来の優れた青年農業者及び農村における指導的人材の養成を図る目的で、畜産関係施設整備の助成を受けることができました。

以上のような五カ年計画で整備を進めているところですが、平成七年度以降の事業で、特に糞尿処理システムについて、同窓生皆様の良き情報がありましたら、御一報頂ければ幸いと存じます。

年度	事業内容	事業量	事業費(千円)
平成5年度	種牛種羊繁殖	338.6㎡	19,141
平成6年度	種牛種羊繁殖	20頭	10,000
	種牛種羊繁殖	20頭	8,000
平成7年度	バイオ式牛舎設置		20,594
平成8年度	糞尿処理施設		16,996
平成9年度	畜舎設置		
合計			74,731

### 平成六・七年度会費納入状況依然低調

### 財政確立に全員の理解と協力必至

同窓会運営の基盤である会費収入については、平成五年十一月三日開催の第二十二回大会において決議、納入をお願いして来ましたが、平成六年五月

不足で花はいまひとつでした。今年こそははりきって、コスモスを定植(道路沿いの畑)したまでは良かったのですが、その後アクシデントがあり、今年も手入れ不足が予想されます。でもこの花づくり、無理をせず、気長にこれからも続けていくつもりです。

行上憂慮せざるを得ない状態でありますので、会員の皆さんに、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。平成六・七年度会費未納の方は、後回しせずに、直ぐに納入下さいませようお願いいたします。とともに、極力、終身会費でのご協力をお願い申し上げます。

#### ◎終身会費納入者

(平成五年十月〜六年五月)

- 〔北海道・二名〕 ② 前田 敦雄
- ② 川添 和雄
- 〔岩手・九名〕 ③ 国分 喜治郎
- ⑤ 小川 昭伍
- ⑤ 那須野 章
- ④ 高橋 利清
- ④ 五嶋 和代
- ④ 五嶋 隆俊
- ⑨ 佐藤 共成
- ⑩ 伊藤 千代子
- ⑩ 伊藤 卓上
- 〔宮城・一名〕 ⑦ 三浦 清寿
- 〔秋田・七名〕 ⑦ 原田 耕造
- ⑧ 伊藤 清之助
- ⑩ 原田 耕作
- ④ 山本 平男
- ⑤ 八柳 ふみ子
- ⑤ 寺井 純子
- ⑤ 山本 嘉子
- 〔山形・一名〕 ④ 村井 努
- 〔福島・二名〕 ⑨ 深田 楠
- ⑨ 五十嵐 竹男
- 〔茨城・十四名〕 ① 菊田 廣司
- ⑦ 小林 宏
- ⑧ 君和田 武司
- ⑧ 大島 武男
- ⑨ 佐藤 昭八
- ⑫ 古川 倫子
- ⑬ 大越 正子
- ⑮ 山崎 隆
- ⑮ 竹原 隆
- 〔群馬・三名〕 ⑭ 石田 孝三子
- ⑭ 戸塚 博昭
- ⑮ 澤辺 昇
- 〔埼玉・七名〕 ⑦ 清水 源也
- ⑮ 石田 善吾
- ⑮ 高橋 忠彦
- ⑮ 江原 ひで
- ⑮ 宮田 和男
- ⑮ 太田 きみ
- ⑮ 高柿 義静
- ⑮ 浦井 義郎
- ⑮ 浦井 みよ子
- ⑮ 篠原 要一
- ⑮ 川田 浩
- ⑮ 佐藤 良夫
- ⑮ 小森 康雄
- ⑮ 福田 浩郎
- ⑮ 野中 知明

支部並びに卒期別の会費納入状況は、別表のとおりで、支部別収入(納入)率の上位は、四六・二%の奈良県を筆頭に、山口県が四二・一%、神奈川県が四〇・五%と続きます。卒期別では、四期の六三・三%、七期の六二・〇%が高率。続いて、一、二、三期及び五期の五〇%以上の成績が特記されます。次に、会費納入者名簿を掲載して領収書代わりいたします。○数字は卒期、括弧は通信課程卒期。